

令和 3 年度

国有林野の管理経営に関する
基本計画の実施状況

令和 4 年 9 月

農林水産省

国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況は、「国有林野の管理経営に関する法律」（昭和 26 年法律第 246 号）第 6 条の 3 第 1 項の規定に基づき公表するものである。

目次

令和3年度の実施状況の概要について

トピックス	3
-------------	---

1 国有林野の管理経営に関する基本方針に基づく管理経営の推進

(1) 公益重視の管理経営の一層の推進	7
① 重視すべき機能に応じた管理経営の推進	7
② 治山事業の実施	12
③ 路網の整備	16
④ 地球温暖化対策の推進	19
⑤ 生物多様性の保全	22
(2) 森林の流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた貢献 ..	24
① 林業の成長産業化等に向けた技術開発・実証と普及	24
② 林業事業体の育成	28
③ 民有林と連携した施業や民有林材との協調出荷の推進	30
④ 森林・林業技術者等の育成と森林総合監理士（フォレストー） 等による技術支援	32
(3) 国民の森林 もり としての管理経営	33
① 国有林野事業への理解と支援に向けた多様な情報受発信	33
② 森林環境教育の推進	34
③ 森林の整備・保全等への国民参加	37

ア	N P O等による森林づくりや森林保全活動の支援	37
イ	分収林制度による森林づくり	41

2 国有林野の維持及び保存

(1)	森林の巡視、病虫害の防除等適切な森林の保全管理	43
①	森林の巡視及び境界の保全	43
②	森林病虫害の防除	45
③	鳥獣被害の防除	47
(2)	「保護林」など優れた自然環境を有する森林の維持・保存	49
①	「保護林」の設定及び保護・管理の推進	49
②	「緑の回廊」の整備の推進	52
③	地域やN P O等と連携した希少な野生生物の保護等の推進	54

3 国有林野の林産物の供給

(1)	林産物等の供給	57
(2)	国産材の安定供給体制の構築に向けた貢献	61

4 国有林野の活用

(1)	国有林野の活用の適切な推進	63
(2)	公衆の保健のための活用の推進	65

5 国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる民有林野の整備及び保全

..... 67

6 国有林野の事業運営

- (1) 民間委託の推進 69
- (2) 計画的かつ効率的な事業の実行 70
- (3) 情報システムの活用と I C T（情報通信技術）の導入 72
- (4) 安全・健康管理対策の推進 74

7 その他国有林野の管理経営

- (1) 人材の育成 75
- (2) 地域振興への寄与 77
- (3) 東日本大震災からの復旧・復興への貢献 79
- (4) 関係機関等との連携の推進 80

参考

- 1 用語の解説 81
- 2 林野庁、森林管理局等のホームページアドレス 87

注) 本報告に記載した我が国の地図は、必ずしも、我が国の領土を包括的に示すものではない。

トピックス・事例一覧

- トピックス 1 国有林野事業における木材不足・価格高騰（いわゆるウッドショック）への対応（各森林管理局） 3
- トピックス 2 「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の世界自然遺産登録と国有林の貢献（九州森林管理局） 5
- 事例 1 多面的機能の発揮に向けた複層林誘導の「見える化」（四国森林管理局 四万十森林管理署） 11
- 事例 2 大規模山地災害への対応（東北森林管理局 下北森林管理署） 14
- 事例 3 災害発生に備えた情報収集演習（四国森林管理局） 15
- 事例 4 国土強靱化 5 か年加速化対策に基づく災害に強い路網の整備（九州森林管理局 宮崎森林管理署） 17
- 事例 5 災害時における代替路としての林道の活用（中部森林管理局 木曽森林管理署） 18
- 事例 6 成長に優れた苗木による効率的な再造林（九州森林管理局 西都児湯森林管理署） 21
- 事例 7 アオモリトドマツ林の再生に向けた取組（東北森林管理局 山形森林管理署） 23
- 事例 8 低密度植栽による低コスト化の実証（九州森林管理局 熊本南部森林管理署） 26
- 事例 9 新たな架線集材システムの実証（四国森林管理局） 27
- 事例 10 樹木採取権実施契約の締結（近畿中国森林管理局） 29
- 事例 11 民有林と連携した森林整備と木材販売（北海道森林管理局 石狩森林管理署） 31

- 事例 12 豊後大野市森林・林業活性化推進チームの取組
(九州森林管理局 大分森林管理署) 32
- 事例 13 「遊々の森」での森林環境教育
(北海道森林管理局 北空知支署) 35
- 事例 14 森林環境教育のコンテンツを作成
(近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター) 36
- 事例 15 「御柱の森」での森林づくり
(中部森林管理局 南信森林管理署) 39
- 事例 16 NPO法人による森林づくり
(近畿中国森林管理局 兵庫森林管理署) 40
- 事例 17 グリーン・サポート・スタッフによる自然休養林の巡視
(四国森林管理局 嶺北森林管理署) 44
- 事例 18 地域と連携したナラ枯れ被害対策の取組
(東北森林管理局 津軽森林管理署) 46
- 事例 19 ICTを活用したシカ捕獲の負担軽減
(中部森林管理局 愛知森林管理事務所) 48
- 事例 20 特定外来生物の除去による森林生態系の保全
(東北森林管理局 朝日庄内森林生態系保全センター) 51
- 事例 21 環境省と連携した希少な野生生物の保護
(北海道森林管理局) 55
- 事例 22 構造材への利用拡大に向けた北海道国有林材の供給
(北海道森林管理局) 60
- 事例 23 木材不足・価格高騰(いわゆるウッドショック)への対応
(東北森林管理局) 62
- 事例 24 アイヌ文化の振興等のための共用林野の設定
(北海道森林管理局 石狩森林管理署) 64
- 事例 25 国立公園と日本美しの森 お薦め国有林の連携事業
(関東森林管理局 日光森林管理署) 66

- 事例 26 大田原市南方地区における公益的機能維持増進協定に基づく
森林整備 (関東森林管理局) 68
- 事例 27 地上レーザスキャナを活用した効率的な森林資源情報の把握
(近畿中国森林管理局 岡山森林管理署) 73
- 事例 28 森林情報の取得・利活用に係る研修
(森林技術総合研修所) 76
- 事例 29 「日本美しい森 お薦め国有林」の魅力発信
(林野庁) 78
- 事例 30 避難指示解除後の森林・林業再生に向けた取組
(関東森林管理局) 80

ホームページ掲載事例一覧

- 事例Ⅰ 庁舎整備における木材利用
(関東森林管理局)
- 事例Ⅱ 林業大学校と連携した人材育成
(東北森林管理局 秋田森林管理署)
- 事例Ⅲ 木の文化を支える森づくりを学ぶ
(東北森林管理局 岩手南部森林管理署)
- 事例Ⅳ 分収造林制度の活用による漆生産
(東北森林管理局 岩手北部森林管理署)
- 事例Ⅴ 古道（トレイル）の整備による地域振興
(中部森林管理局 北信森林管理署)

上記、「ホームページ掲載事例一覧」の事例は以下のホームページに掲載しています。

(参考情報) 国有林野の管理経営に関する基本計画
(平成 30 年 12 月 25 日策定) の実施状況の事例

https://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/jissi/jirei.html



図及び表の索引

1 国有林野の管理経営に関する基本方針に基づく管理経営の推進

図－1	国有林野の分布	8
表－1	国有林野の森林資源の現況	9
図－2	国有林野における人工林の齢級構成	9
表－2	国有林野の機能類型区分ごとの目指すべき森林の姿	10
表－3	保安林の現況	13
表－4	更新、保育、間伐事業の実施状況（○）	20
表－5	森林土木工事における木材・木製品の使用状況（○）	20
表－6	国有林野事業の現場を活用した現地検討会等の実施状況（○）	25
表－7	大学及び試験研究機関との協定数（○）	25
図－3	国有林野における伐採と造林の一貫作業の実施面積（○）	26
表－8	複数年契約による間伐等事業の状況（○）	30
図－4	森林共同施業団地の現況（○）	31
表－9	教育関係機関等との連携による森林環境教育の取組状況（○）	35
表－10	国民参加の森林づくりの協定締結状況	38
表－11	分収林の現況面積（○）	41

2 国有林野の維持及び保存

表－12	松くい虫被害の状況と対策（○）	45
図－5	国有林野におけるシカ捕獲頭数（○）	47
表－13	保護林区分	50
図－6	「保護林」と「緑の回廊」位置図	53

3 国有林野の林産物の供給

図－7	国有林野事業における立木の伐採量（○）	58
表－14	国有林材供給量（丸太換算）（○）	58
表－15	国有林野事業における素材（丸太）供給量（○）	59
図－8	伐採量、供給量、販売量の関係について	59
表－16	民有林からの供給が期待にくい樹種の素材（丸太）供給実績（○）	60
表－17	民有林と連携したシステム販売による木材供給量（○）	62

4	国有林野の活用	
表-18	国有林野の用途別貸付け等の状況 (○)	63
表-19	国有林野の用途別売払い状況 (○)	64
表-20	レクリエーションの森の現況及び利用者数 (○)	65
5	国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる 民有林野の整備及び保全	
表-21	公益的機能維持増進協定の締結状況	67
図-9	公益的機能維持増進協定制度のイメージ	68
6	国有林野の事業運営	
図-10	代表的な森林管理署の事業実施体制	69
表-22	請負事業等における重大な災害の発生状況 (○)	70
図-11	国有林野事業の債務返済状況 (○)	71
表-23	林産物等販売の状況 (○)	71
図-12	新たな国有林 GIS の活用	72
表-24	職員の災害の発生状況 (○)	74
7	その他国有林野の管理経営	
表-25	森林管理局・署における森林総合監理士の育成状況 (○)	75

(○) の図表は以下のホームページに過去のデータを掲載しています。

(参考情報) 国有林野の管理経営に関する基本計画
の実施状況に関する図及び表

https://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/jissi/zuhyou.html



令和 3 年度の実施状況の概要について

(国有林野事業の役割)

国有林野は、我が国の国土の約 2 割、森林面積の約 3 割を占め、その多くが奥地^{せきりょう}脊梁山地や水源地域に分布し、人工林[※]や原生的な天然林[※]等の多様な生態系を有しています。その立地や森林資源等の状況から、①国土の保全その他国有林野の有する公益的機能の維持増進、②林産物の持続的かつ計画的な供給、③国有林野の活用による地域の産業振興又は住民福祉の向上への寄与を目標として管理経営に取り組んでいます。

このような中、森林に対する国民の要請は公益的機能の発揮に重点を置きつつ更に多様化しており、国有林野に対しても国土の保全や地球温暖化防止、生物多様性保全の面での期待が大きくなるとともに、国有林野と民有林野を通じた公益的機能の発揮や我が国の森林・林業の再生への貢献が求められています。

これらの国民からの要請に応えるため、国有林野の管理経営を行う国有林野事業は、平成 25 年度から、一般会計で実施する事業に移行し、国民共通の財産である国有林野を名実ともに「国民の森林」とするよう、民有林に係る施策との一体的な推進を図りつつ、公益重視の管理経営を一層推進しています。また、その組織、技術力その他各種資源を活用し、民有林の経営に対する支援や木材の安定供給等の取組を進めています。

（管理経営基本計画及び令和３年度の実施状況）

農林水産省では、国有林野の管理経営に関する基本的な事項を明らかにするため、「国有林野の管理経営に関する法律」に基づき、あらかじめ国民の皆様の意見を聴いた上で「国有林野の管理経営に関する基本計画」（以下「管理経営基本計画」という。）を策定し、これに基づき国有林野の管理経営を行っています。

管理経営基本計画は、10 年を 1 期とする計画で 5 年ごとに策定することになっています。

令和３年度は、平成 30 年 12 月に定めた平成 31 年 4 月から令和 11 年 3 月までを計画期間とする管理経営基本計画に基づき、国有林野を名実ともに「国民の森林」としていくため、

- ① 公益重視の管理経営の一層の推進
- ② 民有林の経営に対する支援等森林・林業再生への貢献
- ③ 「国民の森林」としての森林とのふれあいや国民参加の森林づくり等の推進
- ④ 国有林野の林産物の安定供給

等に努めました。

本報告は、こうした取組の実施状況について、国民の皆様に理解をいただけるよう、写真と図表を用いてできるだけ分かりやすく記載したものです。

*右肩に「※」を付している用語については、その解説を 81～86 ページに記載。

国有林野の管理経営に関する基本計画

https://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kanri_keiei/kihon_keikaku.html



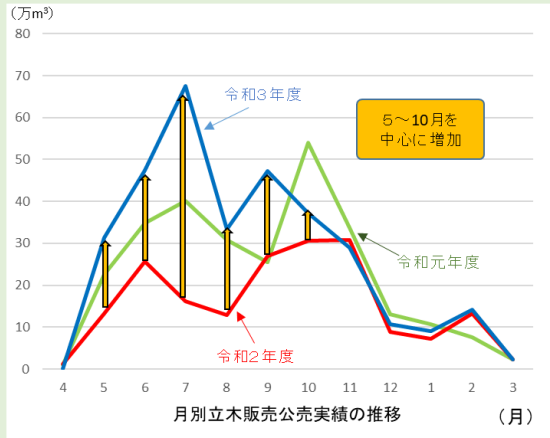
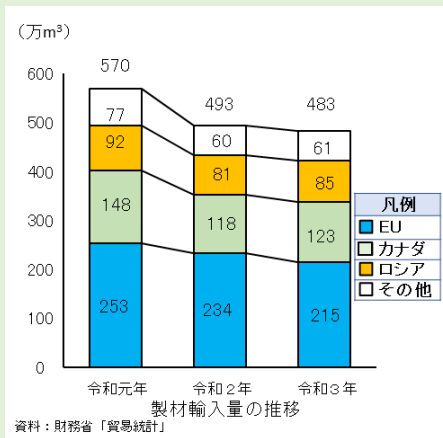
トピックス1 国有林野事業における木材不足・価格高騰（いわゆるウッドショック）への対応

（各森林管理局）

国有林野事業では、地域の木材需給状況が急激に変化した場合において、各森林管理局及び本庁で国有林材供給調整検討委員会を臨機に開催して各地域の需要等を踏まえながら、供給時期の調整等により供給調整機能を発揮するよう努めています。

令和2年は、新型コロナウイルス感染症の影響により経済活動が縮小し、我が国では新設住宅着工戸数が減少したことなどに伴い素材（丸太）需要が減少したことから、立木販売^{*}の公告延期等を実施しました。一方で令和3年に入って、我が国の住宅需要が回復する中、米国での木材需要の高まりやコンテナ海上輸送費の上昇などを背景に輸入木材が不足、価格が高騰し、国産材への代替需要が生じ、国産丸太への需要も高まりました。

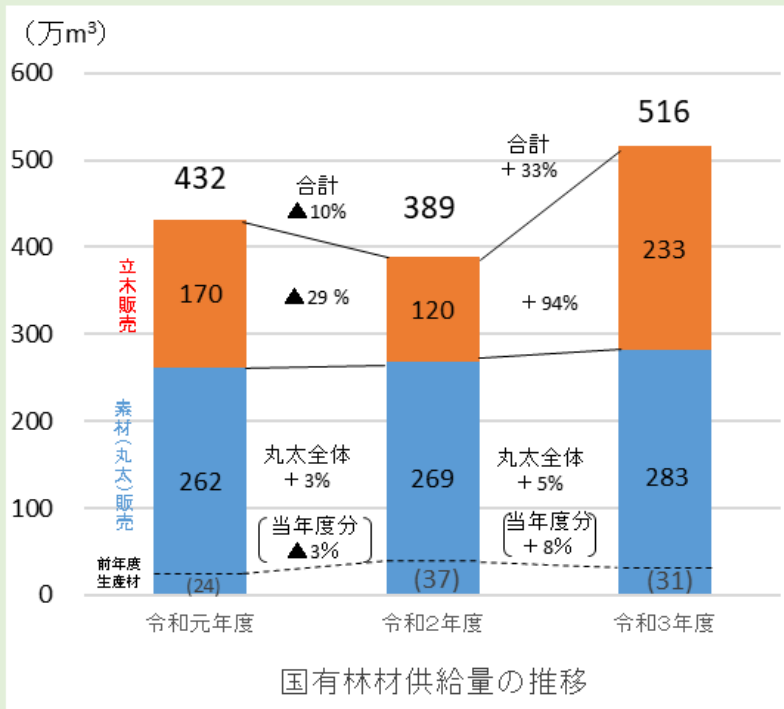
このことを受けて、令和3年度は需要増加に対応するため、各森林管理局では、国有林材供給調整検討委員会の意見等も踏まえ、年度当初から立木販売物件の前倒し販売、素材生産請負事業の早期発注、生産した素材（丸太）の早期販売等を実施しました。



地域によっては国産丸太への旺盛な需要は年度末まで継続し、地域事情を踏まえたきめ細やかな対応に努めた結果、令和3年度の国有林材供給量については、前年度比約3割増加しました。

こうした取組について、本庁の国有林材供給調整検討委員会では、「令和2年度は木材需要が低迷する中で供給を抑え、令和3年度には木材の不足感が強くなる中で前倒しで丸太を供給し、国有林で行った供給調整には一定の効果があった。」と評価されました。

今後においても、国有林材の安定供給に努めつつ、国有林材供給調整検討委員会での意見等を踏まえながら立木販売の前倒しや公告延期など柔軟な対応に取り組んでいきます。



立木販売：樹木を伐採せず、立木のままで販売する方法。数量は立木販売量を素材（丸太）換算した丸太材積（推計）。

素材販売※：間伐※等の森林整備によって得られた丸太を販売する方法。数量は丸太材積。

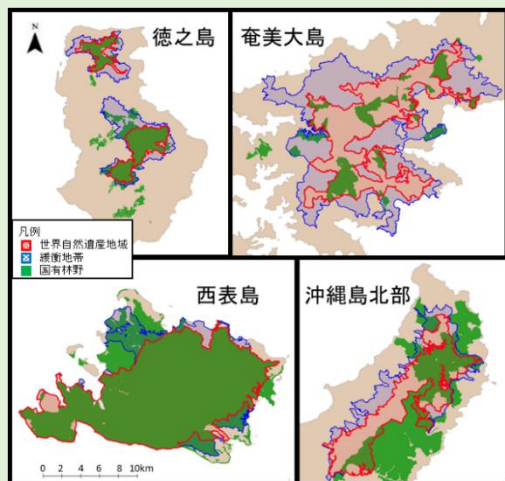
トピックス2 「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の世界自然遺産登録と国有林の貢献

（九州森林管理局）

令和3年7月に「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」が我が国で5か所目となるユネスコの世界自然遺産※に登録されました。

九州森林管理局では、遺産地域の面積（約4万3千ha）の約7割を占める国有林野のほぼ全域について、平成3年から順次「森林生態系保護地域」（注）に設定してきたところであり、希少種保護のための巡視、外来植物の分布状況調査及び駆除、入林状況の把握、希少動物の密猟防止や希少植物の盗採掘防止に係る啓発等の取組を行い、森林の厳格な保護・管理に努めています。

注：保護林（49ページ参照）の一種で、遺産地域には、設定順に「西表島」（平成3年3月）、「奄美群島」（平成25年3月）、「やんばる」（平成29年12月）の3つの森林生態系保護地域を設定。それぞれその特質を踏まえて策定した「森林生態系保護地域保全管理計画」に基づき、遺産地域全体の包括的管理計画等にも整合した厳格な保護・管理を実施。



世界自然遺産地域・緩衝地帯と
国有林野の図面

- ・ 鹿児島県奄美市(あまみし)金作原(きんさくばる)国有林
- ・ 亜熱帯地域に特徴的なヒカゲハゴ

また、今回の登録に伴い、世界遺産委員会から、西表島等における観光管理、絶滅危惧種の交通事故死減少のための対策、緩衝地帯における森林管理等に対する要請がありました。

委員会からの要請に対応して、同局では、希少な野生生物を保護するため、専門家の意見を聞いて策定した森林生態系保護地域保全管理計画に基づき、希少な野生生物のモニタリング、生息環境の保全、外来植物の駆除等を行っています。また、希少植物の盗採掘や希少動物の車両との衝突死の防止のため、森林管理署等の職員が入林者に注意を呼びかけています。さらに、徳之島では、鹿児島森林管理署が地元関係者と、教育・研究やガイド付きのエコツアーのために「はげだけ剥岳林道及びみきょう三京林道の利用に関する協定」を締結し、この協定を基に、各林道にゲートを設置して林道の通行を教育・研究目的等の場合や同協議会が行うガイド付きのツアーで入林する場合に限定することにより、保護と利用の調整に取り組んでいます。

今後も、国、県、地元市町村及び地域の関係者が連携して、これらの要請に対応するとともに、引き続き、適切な保全・管理を行っていくこととしています。



- ・鹿児島県大島郡(おおしまぐん)天城町(あまぎちょう)三京岳(みきょうだけ)国有林
- ・エコツアーガイドによる入林時の説明(令和2年2月)



- ・沖縄県八重山郡(やえやまぐん)竹富町(たけとみちょう)上原(うえはら)国有林
- ・希少植物の生育状況の調査(令和3年6月)